いわき民報

發行所　いわき民報社
平市田町一番地（電話四三八一番）
編輯發行人印刷人　千葉究巳
日刊（月曜日を除く）
定價一ヶ月五圓　一部二十錢

外科　内科
諸橋鐵…　松本源一
平市鎌田町
金成醫院
電八二六番

水田二百町歩に龜裂
稀な豊作豫想に一沫の暗影
部落民總出動で必死の雨乞

連日にわたる旱天續きから出穂期にある郡内各方部の水田に龜裂が生じ旱害騷議が持上つてゐる、農業會支部の調査に依ると
▲夏井村半作以下八十町歩、
▲高久村同じく五十町歩、
▲大野村同じく三十町歩、
▲豊間、江名、小名濱、鹿島各町村とも同じく十町程度！と云ふ數字を示し計二百町歩からが半作と云ふ憂目に會ひ稀に見る大豊作に暗影を投じてゐる、これに呼應して夏井、高久、鹿島、大野の各村とも各部落民總出で雨乞ひを行ふ一方降雨を待ちわびてゐる

早刈りで二毛作へ
農業會支部の旱害水田對策

【別項】各地の旱害騷ぎに農業會支部では反別を正確に調査する一方善后策を講じて居るが"當分雨模樣がありません"との小名濱測候所の情報を聞いて四苦八苦悩み拔いてゐる、結局現在になつてからは蘇す手もなく早刈りを行つて二毛作に轉起二毛作で大增産をはかるよりほかなしとして係員を現地に派し實地指導に乘り出した

小名濱町會

小名濱では十一日午前八時より町會を召集し一時借入金、現金預入先指定、諸學校增改築及び舊魚市場の拂下げ等の諸件を附議するが舊魚場拂下げに關しては漁業會の申入れの爲め無償拂下げ說が有力だが多少の議論は避け難きものと見られてゐる

遺族會成る
役員も全部決定

平市遺族會の總會並に發會式は九日午后一時から市公會堂日本間に開かれた、會員二百余名出席、設立準備委員代表小松茂氏の挨拶並に經過報告にはじまり猪狩庄平氏を座長に推し議事に入り會則設定の件、役員選任の件等附議し選衡委員を擧げて會長に猪狩庄平氏を推した
▲會長猪狩庄平▲副會長小松茂、木田源宗▲理事鈴木裕三郎、石阪一雄、福田彌衛、草野昇二郎、志賀直一▲監事伊藤芳松、松本孝太郎
續いて發會式に移り會長の式辭、山野邊市厚生課長、方面委員遠藤正光兩氏の來賓祝辭があり午后四時閉會となつた、なほ副會長小松茂氏は十一日福島市で開かれる縣遺族聯合會創立準備委員會に出席する

勿來も麥供出完遂
山田、川部も八五％に達す

植田署管内町村の供出狀況は既報の如く吉田署長の陣頭指導で六日田人村が完遂、勿來、山田、川部各町村とも八十五％臺に漕ぎつけたが、昨九日夕刻田人村に續いて勿來町が大麥二千百十一俵、小麥六百七十五俵、馬鈴薯千六百九十八俵の割當を完遂し凱歌を擧げた、これで郡下の供出完遂は川前ほか五ヶ町村となつた

小名濱町へ
待望の米
それでも六日分丈

小名濱町食營出張所では八日より九日にかけ飯米六百俵の入荷あり漸く二十日目で飯米の配給を實施したがこれでは僅か六日間しか間に合はず依然危機は去らぬので町當局は營團出張所長と打合せ不足量に對しては麥、馬鈴薯又は甘藷等によつて代替せしめ[illegible]迄危機突破に邁進せしめる方針を[illegible]るに決定した

平、勿來兩倶が
縣大會へ
全日本軟式野球

全日本軟式野球縣豫選大會の準決勝並に決勝戰は九日平工業校球場で前日に引續いて開催したが、平倶樂部が左のスコアで優勝した、尙この結果十五、六兩日福島に開催される縣豫選大會には平及び勿來の兩チームが代表として出場することに決定した

▼準決勝戰
平クラブ一四―一全浪江
全勿來一―〇小高クラブ
▼決勝戰
平クラブ四―〇全勿來

教育會の即時解散と
縣教組方第五回委員會の成案

五十万圓の使途、教育會の對立七月案を回つて教職員組合の動向は各方面から注目されてゐたが七、八日の兩日磐城高等女學校に開かれた縣下教組第五回委員會は地區別委員四十五名出席の下に協議
▼五十萬圓問題　縣支部に保管し、各支部の事業資金の一部として貸出すこと但し一支部二万圓限度
▼縣回答對策　七月案の實施は國民學校と青年學校教員の優遇案であつて、中等學校は何等優遇されて居ないので、組合としては中等學校の待遇改善を要求する
▼教育會問題　教育會と組合の二本建を廢止して教育會を即時解散或は接收を斷行すること、尙この事に就いては十三日午前十時から郡山市金透國民學校で縣教育會各分會長（全員）と懇談、石城よりは新妻、熊谷、福田の三氏出席
▼教育審議會　縣當局から作成を依頼された教育審議會案は、規程十三ヶ條、細則九ヶ條別表二ヶ條よりなる該案を作成、九月九日午前氏家委員長の手より縣に提出

小名濱臨鐵の
馘首問題
鬪爭委員會結成　從組が交涉開始

小名濱臨港鐵道では去る六日突如業務遂行上步調が合はぬとの理由の下に從業員組合長鈴木重郎（四〇）專任委員、副組合長）後藤信吾（三六）の兩氏に馘首を申渡した、この會社側の攻勢に從業員組合は七日即時臨時大會を開いて鬪爭委員會を結成、この中から交涉委員を擧げて馘首取消しの交涉を開始したが、會社側の態度もなかなか强硬なので成行を注視されてゐる
會社側の馘首理由は驛長としての不正事實があつた外、平からの通勤不便の理由で日本水素（姉妹會社）の社宅を借りながら自分は依然として平から通勤し第三者に社宅を貸してゐる、組合長として獨斷專橫の行爲ありといふ點を擧げてゐる

食糧對策　委員會解散要求
日農石城協議會懇談會から

八日平第四國民學校で開かれた日農石城協議會の講演並に懇談會は郡內農民百五十名參集の下に開かれたが席上緊急決議要請事項として左の五項目を揭げ平植田兩警察署長並に石城地方事務所長に九日要請した
一、臨檢に際し越權の行爲なき樣注意せよ
一、未完遂農家より取り上げたる飯米通帳は一應本人に返還し事情を再調査すべし
一、收穫皆無地の再調査をなすべし
一、完遂農家に對する食糧配給を確保せよ
一、今年の未完遂は割當の不當に依るものなり依つて即時現食糧對策委員會を解散し民主的委員會を組織せよ

安藝海一行
小名濱へ
十二日臨港前で

小名濱町では小野一、若松惣吉氏等が發起人となり引揚者、戰災者、戰死遺家族等の援護資金募集と學生の体育に資する爲東京から安藝の海、東富士一行百二十名を招き十二日（木曜日）午前八時から小名濱臨港前廣場で大相撲興行を開く

待遇改善を要求
郡下各町村農業技術員連が

郡下各町村農業技術員會は七日午後一時から平市湯殿山神社で開催したが、中野技術員の待遇改善供米督勵委員の民主化等が提案されて論議の中心となり、結局待遇問題も委員の民主化も考慮と云ふことになつて一時納つたが、技術員の待遇改善については一致團結して目的の貫徹に邁進することを申し合せた

お酒と薪
市の配給お知らせ

市配給課の九月中旬の配給便りを覗くと
▼お酒　十二日から三日間一世帶二合宛
▼薪　十日から十二日迄、五人以上大束一把、六人以上大束二把　十六、十七、三五、二十四の一部、三十四の一部

四倉に製函工場と
製鹽工場も併設して　常磐産業か

磐城七濱で使用する鰯箱その他の魚函は年七、八百万圓に達してゐるのに着眼した常磐産業株式會社（本社平市揺掘小路社長高山弘氏）は今度資本金十九万五千圓で常磐函材株式會社を創設、四倉町本町に工場を新設、附帶事業として製鹽工場をも經營、八日來事業を開始した、新工場は製函機十數臺を設備、用材は隣接の大野村玉山から搬出される、同工場は二百坪で四倉町滿山平藏氏の經營してゐたものをそつくり買收したもので製函の外高級建具類の製造にも乘出す、現在職工は十七名であるが、四十名に增員することになつてゐる、尙常磐産業は泉に石灰工場を經營する外、農林省指定で醬油釀造にも乘出してゐる一面石材採掘及び姉妹會社常磐興業により石炭增産にも努めてゐるので、その目覺しい躍進振りは注目の的となつてゐる

平高女へ
低學年を

第一校の建築も既に着工、來春の完工を待つばかりだが、九月の新學期を迎へて初級兒童の通學の不便は父兄の惱みの種となつてゐた所、新學期より城山の平高等女學校（舊第二國民學校）の一部を割愛、同方部の初級兒童一年、二年生の一部を收容授業することになり、暫定的處置とは云へ兒童の通學に非常に便利になつた

北寄團子に
一家中毒
生命には別條なし

湯本町大字湯本字八仙三八、旅館炊事婦阿部トクさん（五六）一家四名は去る六日中毒症狀を起し大騷ぎを演じた、トクさんは山形屋旅館に炊事婦として勤務五日正午頃調理せるホツキ、鰯よりなる團子を同夜九時頃味噌汁として一家四名で食したところ六日午前二時頃から惡寒戰慄をおぼえ下痢、嘔吐十數回にも達し腹痛を訴へたが生命には別條なかつた

いわき寸言

▼水田二百町歩に龜裂を生ず、增産に大きな暗影を投げかける、市部落民總出で雨乞ひとある、市民も共に祈れ
▼農業會支部對策として早刈りによる二毛作を計劃、指導員を現地に派遣、指導に大童何にせよ增産のため萬全を期すべし
▼勿來町も田人村につゞいて麥の供出完遂、これで完遂町村五ヶ村に達す、山田、川部も八十五％に達し、もう一足のところこの誠意に謹んで感謝を捧ぐ
▼湯本で北寄貝と團子で一家四名中毒、幸に生命に別條はなかつたが、涼風が立つと兎角中毒が多くなる、赤痢と共に一般に御注意が肝要

診療科目
内科　小兒科
賀澤醫院
小名濱町古港五五
電一九三番

長男修一儀戰死致候處今般遺骨歸還致し來る九月十一日午後一時平市公會堂日本間に於て市葬執行致さる可く候間生前の御厚誼を拜謝し旁々此段御通知申上候
追て自宅告別式は午前十時相營み申候
昭和二十一年九月十日
平市長橋町三十七番地
父　關内信二郎

裁判所の復興工事は？

戰災一年余未だ復舊出來ぬ　依然たる役人のスローモー

衣を食を住をと悲痛な叫びの中でも戰災者、引揚者達に最も深刻な悩みを與へてる住の問題は、寺院の解放や住宅開放令が云々されても一寸も緩和されない、家を建てたくても金がない、建てやうと思へば早くても半年は良い方だ、最近市の積極的な動きで懸案の市營住宅が堂々六百坪の二階建三棟が年の暮までに完工の運びとなつた事は嬉しい限りだが、之等の明暗二重奏の際にまだ／＼拔けきらぬ官僚の見本が茲にある、八幡小路の入り口舊裁判所の建物がそれだ、昨年七月の被害で一部屋のみ使用してるきりで一切は磐女の校舍に移つたが全所三百二十坪の建物は三分の一の家屋消失にも拘はらず世帶戸數は全じで人口は多くなつてゐる市民の現狀を他に雨もりや窓、戸、疊がなくて使用出來ぬと云ふ理由で一ケ年を空家で送つて來たのだ、成程瓦は飛び天井裏はこはれて居る、窓もなければ戸もない、だが入るとなれば結構自分の家だものいくら材料がないと云つても何とかする、いや出來るのだ、夫を役人根性のズボラさは口に民主主義とかもり上る下からの力とか都合の良い事を云ひ乍ら一寸も民の實情を考へない、いや知つても積極的にやらない、そこに從來の役人と全じ非民主性をはつきり見られる、豫算や設計が半年や一年かゝるのは分りきつて居るのだ、その間少しでも市民の窮狀を考へたら一時的に條件つきで收容する位眞に民のことを考へたら出來る筈だ、十五疊敷の部屋を十もおいてそんな理由で一年間を放任しておいた當局の答辯の中にも何等の誠意は認められない、悲しい日本の之が現狀なのだ、一年間の中にたつた一回の調査と七月から實地調査に來てゐると云ふ戰災復興院の田中技官に裁判所の空家に就いて答辯を聽く

年内に完工させる

請負も内定し中旬から着工

復興院田中技官談

裁判所の修理に就いては請負も殆んど定まり本月中旬頃着工にかゝる豫定です、費用明細は近く發表出來ると思ふが何時までも女學校を借用してる譯にも行かず年内には完工の計畫です、壹年間遊ばしておいたと云ふお話しは、一般の方から云ふとそう考へられるのですが實際問題としては戰災後管轄が戰災復興院の手に移り、ここで全國の戰災官廳の調査の結果、緊急復興區域を決定之が豫算を計上して議會に提出した譯で之の通過が確か六月だつたと思ひます、通過して後復興院で設計愈々着工の運びとなつた譯で、勿論資材、勞力の不足は理由の一部には違ひありませんが一年間の經過としては以上の樣な理由です、最も其の間豫算通過や設計の期間を見透して暫定的に開放したらどんなに一般も助かつたかも知れませんが私の方としては來て一ケ月やつとで夫以前の事は良く分りませんが雨もりの点や硝子戸のない、天井裏のこはれてゐる現狀では仲々住む事は出來ません、今役所關係の人が五ツ組居りますが着工と同時に移轉する先がなくて困つてる狀態です

來る二十日迄延期

第一封鎖預金等の設定申請

八月十一日から實施された金融緊急措置令施行規則は改正の結果個人の一口三千圓以上の封鎖預金については第一封鎖預金等設定申請書を九月十日までに原則として預けさき金融機關に提出することになつてゐたが申請書提出の狀況がはかばかしくないので大藏省ではこの期限を二十日間延長九月三十日までとし所要の大藏省令の改正を行つたなほ公益團體の申請書提出期限も右と同樣になつた

衣類　書籍、骨董、其ノ他　最高價買入レマス
平市大町通り　好雅堂　鈴木

開放

投書を歡迎す　要旨批判結構　紙上匿名可

大町二郎君へ

▽…大町二郎君は去る九月六日開放欄で〝國鐵孃へ〟への投稿につき一言反駁したい、と云ふのは今回の國鐵勞組なるものが馘首絶對反對を叫ぶ理由を解しないが故にあの樣な言論となつて現れたものと思ふ、民主々義勞働運動の確立を叫ばるゝ今日かゝる言を吐く者あまりにも認識不足と云はざるを得ない

▽…今鬪爭中の首斬問題は日本全勞働者人の興けとして五十有余萬を擁する國鐵の試金石となつたわけだ、今度の馘首はひとり國鐵はかりでない、日本全勞働者と資本家との鬪爭なのである

▽…女子職員が映畫幕合に放送したからその女子職員が戰時不親切であつたから今度の馘首反對運動には應援しないと云ふ何と云ふ淺ましい根性だらう

▽…女子職員が放送したから女子職員の馘首反對に對して支持して與れと云ふのではあるまい國鐵全職員の馘首に對して應援協力を得たく絶叫してゐるのである

▽…放送が終つて拍手が無かつたら各自分と同感なりと解するはうぬ惚れがつよいと云ひたいあまりにも單純な見解ではあるまいか、かゝる個人感情によつて今日の敗戰日本を復興させる事が出來ようか、斯る感情の持主が多數ありとすれば復興はおろか食糧事情も經濟の安定も望む事は出來ない

▽戰爭中政府や軍閥の指導者の爲に、戰爭にかられて、勝たんが爲にあらゆる犧牲を拂つて來たが武運つたなく敗戰と云ふ期つて見た事も無い憂目を見たかゝる荒れ果てた日本を、復興させるに個人的感情をさしはさむは、他は戰爭中に[illegible]瞞されたのだから復興に、新日本の建設に協力は出來ないと云ふのと同じだらう、眞の民主々義、新日本建設勞働運動確立の實現に努力せんとする今日の時であり、封建的思想の指宝の[illegible]型的なものなりと斷ずるものであります（國鐵味方生）

視力試驗設備が有ります
專門　眼鏡　玉屋　平市二丁目
各眼科醫指定
開店お知らせ

小川青年團役員改選

六日臨時總會で

小川青年團の臨時總會は六日午后一時から村農業會樓上に開き役員改選を行つた
▽團長長谷川仁平▽副團長白石龍夫、吉田ナミ子、長谷川ケイ子▽幹事長松本孝司

婦人內職に竹細工講習

石城生活擁護同盟では四日午後七時から市內大森醫師宅に內職座談會を開いた、穗口勤勞署長、山野邊市社會課長等出席、種々婦人の內職問題等について懇談するところあつたが、近く市社會課の主催竹細工の講習會を開いて貰ふことゝした

場所は國民學校等を利用、一般に呼びかけて希望を募る

集つたりな十二萬圓

平市の教職員連後援會決算報告

市內國民學校教職員後援會では毎月の補助金の寄附も一部を除いて大体完了したので五日公會堂日本間に總會を開き決算報告を行つたが總收入十二萬九千七百三十七圓五十錢の多額に上つた、收支決算に見ると

▽收入寄附十二万九千七百三十七圓五十錢、會長借入一萬二千七百圓計十四萬二千四百三十七圓五十錢
▽支出援護金（四、五、六、七、八月分）六万二千百圓、會長借入一萬二千七百圓其他諸經費一萬四千七百七十八圓計八万九千五百七十八圓
▽殘金五万二千八百五十九圓五十錢

以上の如くで大体來年一月迄の補助の見透しがつき後は今後の活動に俟つこととした

ササキホンヤ　電話二八五番

種牡牛管理

農業會石城支部の種牡牛管理打合せ會は十四日午後一時から泉村農業會に開く

文化

白雲流れて

白石龍夫

丁度龍一が復員したのは下小川部落の田植が始まると云ふ前日の黄婚だつたがあれから未だ二ケ月半も過ぎない今日なのに見渡す限りの稲田は早や實のり昔げて殘暑嚴しい初秋に其の穗先を重さうに垂れてゐる。爽かな初秋の朝風を身一杯に受けて此の恍惚とした豐かな情景をまじろぎもせず先程より靜かに微笑乍ら眺め立つて居る痩骨隆々として顔は日やけし見るからに丈夫さうな青年が有つた。龍一の此頃の姿である。

彼の視線は遠く彼方の赤井嶽の上空へと運ばれて行つた。ゆつくりと純白の雲が西の方に流れて行く。今の此の靜かな龍一の心を乘せ處くが如く。龍一は一年半前頃の支那の生活を思ひ出してゐた。

流石大陸だけに湖南の山野の暑さは一しほだつた。部隊追及の日を目前に控へて一週間前より幹部候補生の集合教育が始まつた。支那特有の老年期の石山の麓を教練場に猛烈た訓練が續けられて行つた。それにも增して彼等の三度の食事は小豆が主食の大分だつた。其れもほんの少量、副食物としては野菜とてなく一ケ月前より『さゝぎ』ばかりの塩汁である。

『おい丸山戰友、さぞ家では陰膳をすえてゐる事だらうに馬鹿に腹が空くなあ』

『うん、全くだ、あの飯に、此の演習ぢや全くやりきれないよ。』

其の日の薄暮、夜間演習、步哨の動作をしたのだつたが龍一は四面眞暗で何も見出せなかつた。榮養不良の爲、夜盲症にかゝつたのである。其の夜は戰友達に負はれたり手を引いて貰つたりして兵舍に迴り着いたのだつた。

あゝあの頃どんなに此の內地の米を欲して居た事か。常に戰友達と米の有難さをしみ／＼と語り合つたのであつた。眼前に開ける此の黄金の波も軈て刈り取られ新米は出來る事であらう。恰かも豐作を祝ふが如く赤蜻蛉の群が實れる稲の頭上すれ／＼に飛び交ふてゐる。殘暑は尚嚴しい。とんぼ群陽は盛んなり稲實る（完）

いわき俳壇

綿引伊佐夫
秋あつしたつきの店の小ささよ
午后からの仕事眠むたく秋暑し
もの刻む音の厨に盆の月

綿引欣吾
母老ひて對膳たのしむごとくなり
はかどらぬ仕事にきびし殘暑かな
虹かゝるごとく蚊帳より盆の月

中根鐵輪
ほぐれ來てはらりと咲きぬ月見草
捻りほぐる如く咲きたる月見草
一枚の古りし簾に殘暑かな

各種家具　建具洋具　製作
小名濱　壽製材工場
事務所　竹町十一　小池實　電二五八番

淑女に……紳士に……
コノ香リ・コンツケ心地
高級純植物性　S.Pポマード
全國有名化粧品店に有ります
本舗　東京[illegible]
發賣元　平市　小路SP商會

記帳決算　計理　變更合併…設立增資…會社
桑原計理事務所
計理士税務代理士　桑原徹
平市場上電八一五番